

たも屋が台湾に  
集中調理施設

讃岐うどん50店めざす

【高松】讃岐うどん店チェーンを運営する、たも屋（高松市）は台湾にセントラルキッチン（集中調理施設）を設けた。同社は昨秋以降、台湾に8店を構えており、2019年までに50店を増やす計画。麺や具材の品質

を守りながら量産し店舗展開に生かす。

セントラルキッチンは台北市に隣接する新北市に設けた。練り機や大型製麺機を置き、1日1万食の製造能力を備える。まずは台北市周辺の5店向けに、麺、トッピング用の肉や野菜を加工し配送する。

今後は出店ベースに合わせ製麺機を増設するなどし、3年後までに台湾で計画する50店のうち約30店をカバーする予定だ。